

博士論文内容の要旨及び博士論文審査結果の要旨

氏名(生年月日)	倉藤 利早	(****年**月**日)
本籍	*****	
学位(専攻分野)	博士(健康科学)	
学位授与番号	甲第125号	
学位授与日付	平成26年3月14日	
学位授与の要件	学位規程第3条第3項該当	
論文題目	部活動における熱中症予防活動の有効性に関する研究 －高等学校バスケットボール選手を対象に－	
審査委員	教授 松枝 秀二	教授 小野寺 昇
	教授 長尾 光城	

博士論文内容の要旨

地球温暖化が地球における諸活動に影響を与えており、熱中症もその中のひとつであると考えた。熱中症は学校現場で起こることが多いので、研究の対象として学校現場を選んだ。研究は1から5で成り立っていて、研究1では学校教諭の問題意識の低さと指導の少なさが示唆された。研究2、3では、高校生男子バスケットボール選手を対象に春季と秋季での水分補給と体重変化について検討し、選手自身の熱中症に対する高い意識の必要性や選手の自由飲水だけでは不十分であることが示された。研究4、5では、研究3までのことを踏まえて、研究知識提供の有用性と予防活動の有効性について検討した。その結果、選手自身だけでなく周りのサポートの重要性とそのサポートが継続されるべきであることが示された。

博士論文審査結果の要旨

論文審査は約30分間のプレゼンテーションと審査委員からの質問、指摘が行われ、それに答える形で行われた。プレゼンテーションについては言葉の使い方(教諭、教師、教員、指導者)についてご指摘をいただいた。これは、論文中で修正することとした。プレゼンテーション全体の流れは良好との評価であった。対象者の競技レベルに問題があるのではという御指摘をいただいたが、この論文の特徴のひとつとして普段あまり管理されていない部活動を行っている普通の高校生を対象としていること、研究を行った時期が夏だけでないこと、それを長期間にわたり調査研究を行っていること、さらには結果を教育の場に還元しようとしていること、などを含めて本人が教育の現場に立った時の課題が見えてきたことを評価できる論文であった。